

令和7年度郷土を愛する心を育む教育についての取組 武雄市教育委員会

武雄市の古きよきもの・新しきよきもの

- ・町の中心には、「肥前国風土記」にも記された1300年の歴史をもつ武雄温泉があり、この温泉には日本銀行や東京駅の設計を行った辰野金吾設計の楼門があり、国の重要文化財に指定されています。
- ・10月には市内各地で供日が行われます。その代表的な行事として平安時代から鎌倉時代にかけて盛んになった射術である流鏑馬が、神社の神事として今も行われています。
- ・武雄市図書館・歴史資料館が人気スポットとなり全国から多くの観光客が訪れています。
- ・令和4年には西九州新幹線の開業に伴い、「西九州のハブ都市」としての役割を担っています。



武雄市教育委員会所在地：武雄市武雄町大字昭和12-10
連絡先：(学校教育課) 0954-23-8010
学校数：小学校 11校 中学校 5校

武内小学校の取組

武内小学校は武雄市北西部に位置し、真手野や梅野から成る自然豊かな地域です。世界一の容積を誇る登り窯の「飛龍窯」があり、黒牟田焼や武雄焼の窯元がある等、400年以上の歴史をもつ焼き物の里として知られています。

本校児童は、総合的な学習の時間や教科の学習において、地域の方との交流を通して、武雄市や武内町の人・こと・ものの良さに触れ、その素晴らしさを実感しています。

令和7年度は、武雄焼研究会の協力のもと、市内児童が「武雄焼」のよさや、職人の生活、文化等を知ることが目的として、4年生の児童が中心となり、総合的な学習で焼き物の体験学習や歴史探訪を行いました。

創立150周年事業の一環として行った全校児童による飛龍窯での絵付け体験、4年生による飛龍窯ろくろ体験、明山窯での焼成、武内町文化祭における児童制作の焼き物展示会等を通して、武雄焼のよさに触れ、地域への愛着や誇りをもつ心を深めました。

武雄の伝統的な焼き物である「武雄焼」を知ってもらうためのパンフレットを作成し、武雄市長を訪問して紹介したり、市内の小学校に配布したりして、武雄の魅力を広く紹介しました。



市の名所・旧跡

川古の大楠



若木町にある川古の大楠は、全国第5位の巨木。樹齢3000年で国の天然記念物にも指定されており、大楠公園として整備されています。

武雄温泉



武雄温泉は1300年前の書物にも出てくる歴史ある温泉です。伊達政宗やシーボルトも入浴したと言われています。武雄温泉新館及び楼門は国の重要文化財です。